

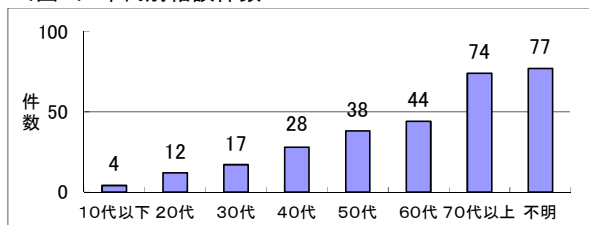
令和5年9月分の消費生活相談の概況

- 9月の相談受付件数は、294件で〈表1〉のとおりです。前年同月(317件)と比べ、23件減少しました。
- 総相談受付件数294件のうち、「不当請求」と判断される相談は16件で、前年同月(25件)と比べ、9件減少しました。
- 契約者の年代別相談件数は、〈図1〉のとおりです。70代以上が一番多く74件、以下60代が44件、50代が38件、40代が28件、30代が17件、20代が12件の順です。
- 相談の多かった商品・サービスは、〈表2〉のとおりです。第1位は「商品一般」で、以下「工事・建築」「化粧品(全体)」「四輪自動車」「役務その他サービス」となっています。

〈表1〉

区分	総相談件数		販売購入形態別相談件数										危害・危険		不当請求	
	件数	うち 苦情相談	店舗 購入	訪問 販売	通信 販売	マルチ・マル チマが い	電話勧 誘販売	ネガティ ブ・オブ ション	訪問 購入	その他 無店舗	不明・ 無関係	危害	危険	うち架 空請求		
9月	件数	294	284	55	25	94	0	10	0	4	0	106	1	2	16	10
	構成比 (%)	100.0	96.6	18.7	8.5	32.0	0.0	3.4	0.0	1.4	0.0	36.0				
累計	件数	1,766	1,678	254	108	619	8	96	0	28	5	648	18	4	114	44
前年同月	件数	317	303	49	17	104	5	16	0	4	0	122	4	0	25	6

〈図1〉年代別相談件数



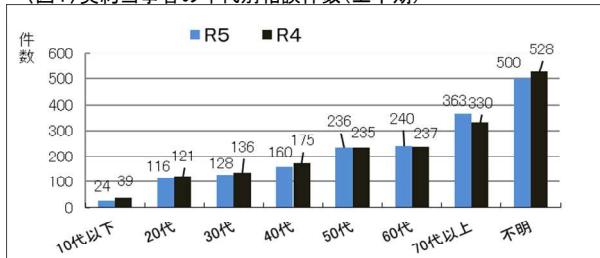
〈表2〉商品・サービス上位5品目

順位	商品名等	件数	主な内容
1	商品一般	33	特定できない商品(架空請求ハガキ・メールなど含む)
2	工事・建築	18	屋根、塗装など不動産の請負工事
3	化粧品(全体)	17	メイクアップ、頭髪用、基礎化粧品など
4	四輪自動車	15	普通自動車・軽自動車など
5	役務その他サービス	13	サポートサービスなど

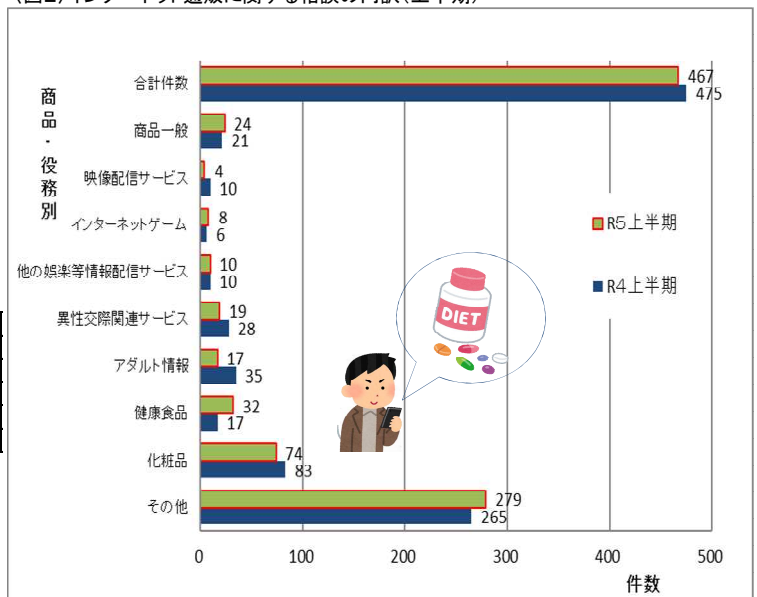
令和5年度上半期(4月～9月)の相談の概況

- 県消費生活センターへの上半期の相談受付件数は、1,767件で前年同時期(1,801件)と比べ、34件の減少となりました。
- 契約当事者の年代別相談受付件数は、〈図1〉のとおりです。70代以上が一番多く363件、以下60代240件、50代236件の順となっています。
- 相談の多かった商品・サービスは、〈表1〉のとおりです。第1位は、架空請求メールを含む「商品一般」の209件で、以下「化粧品(全体)」「役務その他サービス」「工事・建築」「健康食品」の順となっています。
- 昨年度同様インターネット通販に関する相談件数が、〈図2〉のとおり総相談受付件数の3割近くを占めています。40代から60代の男女を中心に、SNSの広告から安価なダイエットサプリをお試しと思い注文したら定期購入と分かった、解約したいが連絡がとれないという相談が増加しています。

〈図1〉契約当事者の年代別相談件数(上半期)



〈図2〉インターネット通販に関する相談の内訳(上半期)



〈表1〉商品・サービス上位5品目

順位	商品名等	R5.4～9月	R4.4～9月	増減
1	商品一般	209	204	5
2	化粧品(全体)	98	104	▲6
3	役務その他サービス	75	50	25
4	工事・建築	62	32	30
5	健康食品	61	37	24



新潟県消費生活センターの来所相談は予約制です。まず、電話でご相談ください。相談電話 025-285-4196